

宮島歴史民俗資料館：展示館 D

展示館 D は近代的な 2 階建ての建物であり、12 世紀以降の厳島神社の歴史と、宮島に関連した芸術品や他の資料の両方に焦点を合わせています。

1 階は厳島神社および平清盛（1118～1181 年）に重点を置いています。清盛は、京都の貴族文化を宮島にもたらし、都の上流階級のあいだで厳島神社の格を高めるのに重要な役割を果たした平安時代の有力政治家です。清盛の功績と宮島の印象的な歴史が、英語の字幕付きビデオで詳述されています。他の展示品は、宮島を平家物語の出来事と結び付けています。平家物語は 12 世紀後半の平家と源氏の戦いの物語です。

2 階では、宮島に関する絵画、地図、写真、旅行案内書、他の資料を展示しています。そのほとんどは江戸時代（1603～1868 年）のものであり、地図のように詳しく島を描いた屏風、江戸時代に宮島で上演された歌舞伎に関する史料、歌川広重（1797～1858 年）とその 20 世紀の後継者である川瀬巴水（1883～1957 年）の浮世絵が含まれています。